

---

# 未来視眼鏡

タケノコ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

未来視眼鏡

### 【Nコード】

N3776I

### 【作者名】

タケノコ

### 【あらすじ】

才気かん癡な青年が拾ったのは未来が見える眼鏡で……

## 前編

あるところに、大手企業に勤める将来有望な真田という男がいました。

出世コースにのった彼は現状に満足し、自身の高い能力に甘んじていました。

そんな時、通勤中に真田氏は道端で不思議な眼鏡を拾いました。

「変わった眼鏡だなー」

その、眼鏡は片方はレンズがあるのにもう半分は、鉄のレンズがはめられていて、見えないのです。

通勤中だった彼は、試しに眼鏡をかけ、辺りを見回して見ました。すると、道を行く老人が眼鏡の普通のレンズでは、老人に見えませんでした。しかし、鉄のレンズに映ったのは、死に装束を身に纏った姿でした。

他にも見て見たいと考えた青年は、真面目そうな学生を見遣りました。

鉄のレンズに映ったのは、歳をとりスーツに弁護士バッチを付けた学生の姿でした。

将来有望な真田さんは、自身の未来が見たくてしょうがなく、トイレに駆け込むと鏡を覗き込みました。

「な、なぜだ!？」

青年の鉄のレンズに映ったのは、やつれ、細り、ダンボールで生  
活する姿ではありませんか。

それからというもの、青年は死に物狂いで、努力、勉強を重ねま  
した。そして、出世もしました。

しかし、鉄のレンズに映るのはホームレスをしている真田の姿ば  
かりでした。

それでもめがずに修養を修め続けた彼は、なんと総理大臣にまで  
昇りつめました。

未だに真田さんは、努力の虫です。

不思議な眼鏡のフレーム側面に宇宙文字で『注意：鏡で見ると未  
来の結果が逆になります』と書かれていました。  
果たしてホームレスの逆とはいったい……。

つづく

## 後編

真田さんは歳をとり、総理大臣になってから、はや十年の歳月が流れていました。

真田氏は、高級そうな椅子に腰掛け机に向かいます。次々に詰まれる書類。

ここは、トイレ。鏡を不思議な眼鏡をかけ、覗き込むあの男の姿がありました。

「また、ホームレス！ 私は、頑張っていないと、いつ眼鏡の結末になるか分からない……」

彼は、常日頃そう考え修練に明け暮れました。

真田さんは、眼鏡を使い素晴らしい未来が見えた者達を雇い、あるいは仲間にしながら世界最高権力者、『大統領』にまでの上りました。

「まだだ。まだ頑張らねば！」

ホワイトハウスの中、大統領の自室で鬼のように厳しい表情を崩さない真田プレジデント。

ホームレス、ダンボールの家、ブルーシートの敷布団。それらの  
逆は……

おしまい

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3776i/>

---

未来視眼鏡

2010年10月9日01時18分発行